

# 令和元年7月三田市教育委員会定例会会議録

## ○開催日及び場所

令和元年7月25日(木)午前10時00分開会 午後4時00分閉会  
三田市役所 南分館 601会議室

## ○議事日程

日程第1 開会  
日程第2 前回会議録の報告、承認  
日程第3 会議録署名委員指名  
日程第4 会期の決定  
日程第5 教育長の報告  
日程第6 議事 議案第28号から議案29号  
日程第7 報告事項 報告第17号  
日程第8 その他

## ○会議に出席した委員(5名)

1番 鹿嶽昌功 2番 吉田礼子  
3番 中上之仁 4番 田口文夫  
5番 三木尚美

## ○説明のため出席した者(11名)

学校教育部長 岡崎正文 学校教育部次長 外岡明文  
教育総務課長 浅野晋司 学校教育課長 山本直也  
教育研修所長 村岡智行 学校給食課長 宮城信之  
教育総務課参事 上野 樹 学校教育課参事 吉田裕彦

三田市立学校図書選定委員会 委員長 伊藤博之  
副委員長 福井加寿子  
特別支援担当校長 津堅賢一

## ○代表学校長(1名)

小学校校長会代表 福井加寿子(上記副委員長兼務)

## ○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課 寺 篤 晶 子  
松 田 成 行  
藤 本 真

## ○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功  
教 育 委 員 三 木 尚 美

## 日程第1 開 会

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和元年7月第239回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

## 日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長  
(浅野 晋司)

(令和元年6月28日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

事務局から説明がありました会議録について、何かご質問はございませんでしょうか。

なければ、このように承認させていただきます。

## 日程第3 会議録署名委員指名

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。

会議録署名委員は、5番 三木尚美委員にお願いします。

## 日程第4 会 期 の 決 定

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和元年7月25日木曜日午前10時00分開会といたします。

## 日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

1学期も終わり、夏休みとなっています。昨日梅雨明けしたところですが、今年は猛暑・酷暑という状況ではありません。小学校空調設置についてご心配をおかけしたところですが、1学期なんとか無事に過ごせたのではないかと考えています。

これから本格的な夏となります。子どもたちは各家庭で、有意義な夏休みを送ってくれると思います。そして、元気に2学期を迎えてほしいと思います。

それでは、前回の定例会以降の状況についてご報告いたします。

#### 1 親子でトマト収穫体験（6/30）

本年度の「食べチャオさんだ!」食育推進事業の一環で、6月30日に、香下の中上農園様にご協力いただき、直接、中上委員にお世話になったわけですが、「親子でトマト収穫体験」を開催いたしました。

当日はあいにくの天気だったのですが、大規模なビニールハウスの中、新鮮なトマトの収穫体験をすることができました。子どもたちも保護者の皆さんと共に、楽しい時を過ごしていただいたのではないかと思います。

#### 2 市制記念日（7/1）

7月1日は61回目の三田市制の施行記念日でした。毎年記念式典を開催していたわけですが、昨年の60周年記念式典を契機に、今後は節目による式典とし、今年は、午後5時半から市役所ロビーにおいて、コンサートとともに、さつき賞と昨年から設置されたチャレンジアワードの表彰式がありました。

チャレンジアワードでは、昨年頑張った子どもたちも表彰されたわけですが、これを契機に、さらに活躍してほしいと思います。今回は、市民の皆さんの参加もあり、アットホームな雰囲気の良い表彰式でした。

#### 3 市長学校訪問・給食交流（7/4）

今年の学校訪問最終日の7月4日、三田小学校に市長も訪問いただき日々の子どもの学習状況を参観いただきました。また、6年生児童と市長の懇話会では、市長からの講話とともに子どもたちとの意見交換は、子どもたちも積極的に質問をしていました。良い体験ができたと思います。

また、給食では各教育委員の皆さんにもご参加いただき、「三田の食立」ということで、先の「親子でトマト収穫体験」で収穫いただいたトマトなど三田の夏野菜を使ったカレー、三田ポークなどのメニューの給食を、各クラスの子どもの皆さんと共にいただきました。子どもたちは皆元気で、おしゃべりをしながら、楽しい給食の時間を過ごすことができました。

#### 4 三田市いじめ問題対策連絡協議会（7/12）

7月12日三田市いじめ問題対策連絡協議会を開催いたしました。市内の小中学校代表、高等学校及び特別支援学校、また、警察や人権擁護委員、行政関係部局の代表による協議会で、各組織からいじめ問題に対する取組など、ご報告いただき情報共有させていただきました。

この組織代表による協議会は年一回ですが、参加団体・組織の実行部隊であるネットワーク会議で、具体的な取組や活動等を協議し、実践につなげていただいているところです。

いじめの問題は、特に学校が主体として動かなければならないところでは

ありますが、家庭や地域、そして警察などの関係機関とも十分連携しながら取り組んで行かなければならないと思っております。

#### 5 平和の鐘を鳴らそう運動（7/20）

7月20日三田ユネスコ協会が実施されておられます「平和の鐘をならそう運動」に参加いたしました。

三田市総合文化センターの東側の広場に三田ユネスコ協会様が設置された平和の鐘を、7月19日の「民間ユネスコ運動の日」を記念して、鳴らす運動です。

この「平和の鐘」は平成26年に設置されたものですが、それ以前にも市内のお寺にご協力願ひ、鐘をついてこられました。

三田市の学校の修学旅行では、小学校は広島、中学校は長崎・沖縄を訪れるなど、子どもたちも平和学習に取り組んでいます。

時代は昭和から平成そして令和となったわけですが、先の大戦の悲惨さと平和の尊さをこれからも語り続けていかなければなりません。

#### 6 兵庫県都市教育長協議会からの県への予算要望（7/22）

7月22日に、兵庫県都市教育長協議会の副会長として、各役員の皆さんと、兵庫県教育委員会に来年度の予算要望に行ってきました。

県からは、西上教育長をはじめ、幹部の皆さんにご出席いただき、県教育長より丁寧にご対応いただきました。

小学校5・6年生の35人学級や特別支援学級の学級編成基準の件、通級指導担当教員など特別支援に関わる教員や生徒指導・不登校対策担当の配置の充実など、要望いたしました。

兵庫県としても国との関係もあるわけですが、我々各市の状況もご理解いただいているところであります。国への働きかけも含めて、今後も支援いただけるようお願いしてまいりました。

#### 7 阪神地区教育長会議（7/23）

兵庫県教育委員会が、毎年1回県下の教育事務所単位で市町の教育長と協議する教育長会議が7月23日、西宮の阪神教育事務所で開催されました。

議事については、3点、「小学校における外国語科の充実」「部活動のあり方」「学校における働き方改革」についてでありました。

「小学校における外国語科」については、来年度からの本格実施に向けての70時間の授業時数の確保、指導体制や教員の研修等について情報交換させていただきました。

「部活動のあり方」では、特に吹奏楽部を中心とする文化部について、地域の催しなどへの参加の考え方を中心に協議しました。「学校における働き方改革」については、留守番電話の効果や夏季休業日の短縮、教員の印刷などの業務補助員の導入、部活動指導員などの具体策について意見交換

いたしました。

いずれも、我々にとって重要な課題であり、一つの市単独ではなく、各市町とも連携した取組が必要であると思っております。

私からは以上です。

## 日程第 6 議 事

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

本日は追加議案がございますが、この議案につきましては、個人情報を含む人事案件となりますので非公開として審議させていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

(1)教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第 1 条第 1 5 号】

議案第 2 8 号「令和 2 年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

○教育研修所長  
(村岡 智行)

議案第 2 8 号「令和 2 年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会委  
員長  
(伊藤 博之)

「令和 2 年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」三田市立学校教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。

「令和 2 年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」  
【中学校教科用図書（特別の教科 道徳を除く）】について、内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。昨年度選定いただいた道徳を除く来年度使用する中学校教科用図書ですが、説明がありましたように検定申請がないため、平成 2 6 年に答申し、平成 2 7 年度に採択された現在使用している教科書を来年度も引き続き使用する答申となりま

す。何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員  
(吉田 礼子)

今回採択された教科書は、昨年度までの実績がございますし、令和2年度の1年間のみの使用となることを考えると、不合理な感じもします。今までの研究の積み重ねがありますし、継続して使用することが、質の高い教育を子どもたちに保障することになると思いますので、いいと思います。

○教育委員  
(田口 文夫)

私も吉田委員とほぼ同じですが、問題点がなく、平成27年度から使用していて、指導の継続性があり、現場からも子どもたちに適した良い教科書だという意見があるとのことですから、4年間の教科書を使った研究を生かしていく観点からも、前回と同じ教科書でいいと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他にございますか。

教育委員の皆様の意見もございましたので、来年度使用する中学校教科用図書は、答申がありましたとおり、平成27年度に採択した教科書を継続して採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

三田市立学校教科用図書採択に関する答申

「令和2年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」  
【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について説明をお願いします。

○三田市教科用図書  
選定委員会 特別支  
援担当校長  
(津堅 賢一)

「令和2年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」  
【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について具体的に  
内容説明。  
学校教育法附則第9条の規定による一般図書の答申とさせていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

9条図書の採択となります。削除する本と新規に採択する本を合わせて、325冊の答申となります。閲覧会で本を見ていただいたと思いますし、また今、本をご覧になって何かご意見、ご質問等ございますか。

○教育委員  
(田口 文夫)

本を見ていますと、高齢者は65歳からとの記載がありますが、現在65歳を高齢者とは言わないと思いますが、検定本のほぼ全てに高齢者は65歳となっていますね。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会委  
員長  
(伊藤 博之)

そうですね。現在は高齢者は、70歳ぐらいが妥当でしょうか。なかなか、ここでは、取り上げることはございませんし、記載されていることに関して審議する事はできませんので、ご了承していただきたいと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に、何かご意見等ございますか。

○教育委員  
(中上 之仁)

今回、英語の観点から本が選ばれていると思いますが、そのことについてもう少し説明をお願いします。

○三田市教科用図書  
選定委員会 特別支  
援担当校長  
(津堅 賢一)

一覧表を見ていただければ、おわかりになると思いますが、これまでも外国語に関する本が少ないことが課題として挙げられています。今回採択に上がりました4冊は、現場で使用されてきた実績もあるように、どの本も中学校の現場で、特に、特別支援学級を中心に活用されている本です。今回の本は、通常学級の授業参加が難しいが比較的理解力のある子どもたちに適した本です。小学校においても、英語の授業が始まります。今後、外国語に関する本を充実していくことが必要となることを運営委員会でも話題となりました。出版社の方々にも同様に、これから外国語の本を出版していただけるのではないかと期待しております

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他にご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員

先ほど、たくさん説明をしていただきましたが、9条本ということ

(三木 尚美)

で一般的にどのような本が、選ばれ、使用されることが多いのでしょうか。

○三田市教科用図書  
選定委員会 特別支  
援担当校長  
(津堅 賢一)

発達に課題のある生徒が多いですので、やはり、見てわかりやすい、色々な日常生活につながるようなシチュエーションが描かれている絵本が選ばれることが大変多いと感じます。それから、公文式のように、普通の教科の学習に直結するようなドリル的なもの、また、お出かけの基本や、お手伝いの絵本などソーシャルスキル、人との繋がりをつくることに役立つような絵本が多いと思います。また、音楽や図工、技術・家庭や保健体育の教科につきましても、交流授業で通常学級の生徒達と一緒に学習することが多く、その教科については、検定教科書を使用することが実際のところでは、

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。

○教育委員  
(田口 文夫)

今回調査されているなかで、この本は選定するのをやめておこうという本はありましたか。あれば教えてください。

○三田市教科用図書  
選定委員会 特別支  
援担当校長  
(津堅 賢一)

実際に2冊ございます。1冊は、「くらしに役立つ家庭」この書籍の執筆者の多くが特別支援学校教諭であり、知的障害者の社会での自立に向けた内容が多くありますが、中身は写真がほぼなく、イラストのみですし、文字数も大変多く、障害のある生徒が使用するには、ハードルが高いと思います。また、通常学級で使用している中学校の技術家庭科の教科書のほうがカラー刷りでわかりやすいため、小、中学校の特別支援学級や学校の児童、生徒を対象とした一般図書として適さないと判断いたしました。もう1冊は、「よくみるよくきくよくする絵本 たべものとかからだ」です。大変可愛らしい本ではありますが、初版が1972年であり、昭和ということもありまして絵が古く、現在と異なるものが多く描かれています。例えば、ガソリンスタンドや蒸気機関車、和式のトイレ、水道の蛇口、ドアノブ、など現代の生活様式とはかなりかけ離れた絵が描かれておりますので、今の子ども達にふさわしい本だといえないと思います。したがって、小、中学校の特別支援学級や学校の児童、生徒を対象とした一般図書として適さないと判断し、この2冊につきましても採択を見送りました。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。他に何かございますか。  
今回新規に採択された本は、イラストは豊富にあるのですが、文字的には、小さく書かれている物もありましたね。

○三田市教科用図書  
選定委員会 特別支  
援担当校長  
(津堅 賢一)

英語もそうですし、中学校で使われる図書につきましては、文字数は多いと思います。小学校で使われる図書は、以前に採択された物もありますので、そちらを使用されることになるとと思います。今回は、中学校の先生の目線で多くが採択されたように思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。  
なければ、第9条の規定による一般図書、削除、新規を合わせた325冊の答申を採択させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

三田市立学校教科用図書採択に関する答申  
【小学校教科用図書】について説明をお願いします。  
教科が多いため、一教科ずつの答申、採択とさせていただきます。

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【国語】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

始めに、小学校教科用図書の調査研究について詳しく報告させていただきます。調査の日程については、十分な調査研究の期間を確保するために、5月15日から6月24日までを調査研究期間としました。調査研究におきましては、図書選定委員会の採択方針に従うとともに公正確保の徹底に務め、公正、公平に調査を行って参りました。それでは、教科ごとに説明してまいります。

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【国語】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。教育委員の皆様には、事前に内覧会で全ての教科書をご覧いただきました。最初にありましたように、推薦図書だけではなく、国語の教科用図書につきましては、4社の候補から採択することが出来ます。協議を効率的に進めるため、まず、推薦図書である2社の教科書を協議するか、それとも、4社で協議するかを決めたいと思います。いかがでしょうか。

○教育委員  
(吉田 礼子)

調査研究されて、推薦された2社で協議する方向でよろしいと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、答申のありました2社の東京書籍と光村図書の国語の教科書の協議を進めていきたいと思います。ご質問、意見等ございますか。

○教育委員  
(田口 文夫)

4社ともそれぞれ優れた作品を使用している図書だと思います。その中で、2社がなかなか優れた作品を掲載していると思いますが、2社を比較するといかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

田口委員がおっしゃるように、両社とも旧教材、新教材、魅力的でよい教材が取り入れられています。特に光村図書については、良い教材ですが、長文で指導時間が長くなるのが、懸念されます。一方東京書籍は、6年生に「ヒロシマのうた」、「いわたくんちのおばあちゃん」という平和教材がありまして、6年生で広島に平和学習に行く三田市の実態に合っていると思います。また同じく、東京書籍では、6年生に「町の幸福論」という教材があるのですが、ここで、三田市の有馬富士公園が取り上げられています。子ども達にとって、親しみがある地元三田市が取り上げられている教材は、意欲的に学習できると思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。  
他に何かございますか。

○教育委員

4社とも主体的、対話的で深い学びということで、新学習指導要領

(吉田 礼子)

にそった教科書だと思うのですが、特に東京書籍、光村図書の2社を比較すると、学習指導要領のなかで特徴的なものは、何がありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

両社とも重点的に取り上げられていますが、光村図書では、小単元で文章構成を理解しておき、その学びを生かして大単元の文章を読み取るという「習得から活用」を意識した構成になっています。東京書籍は、先ほども説明しましたように単元末の「生かそう」のコーナーで、国語科で学習した学びをさまざまな場面、その他の教科で活用することで、より豊かで、確かな言葉の力を身に付けさせようと意識されて、構成されていると思います。また、先ほどご覧いただいた1年生の新教材「さとうとしお」では、観点ごとに手触り、色、味などを、比較して読む基本が示されており、低学年から系統的に国語科の見方・考え方を育んでいこうとする意図がみえます。言葉の力を系統的に育んでいく点において優れていると思います。

○教育委員

(中上 之仁)

指導のしやすさについては、どう思われますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

2社とも優れた教科書ですが、先ほどもご説明いたしましたように、光村図書は、「たいせつ」コーナーでは、言葉の力だけでなく、学びの手順など、指導する側にとっても多岐にわたる内容が載せられていて、学びの幅が広がる可能性があります。しかし、長文であることや、指導者による指導のばらつきが懸念されます。三田市も若手の教職員が増えてきまして、経験の浅い教員と経験を積んだ教員とで、ある程度同じ指導ができる教科書かという観点から見ると、指導のばらつきに懸念があります。

一方、東京書籍は、育みたい言葉の力が焦点化され、系統的に学びを積み上げる構成であることから、指導者による指導のばらつきが比較的にくいのではないかと思います。一貫した教育を6年間積み上げていくという点で、東京書籍が優れていると思います。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

その他、何かお気づきの点などございますか。

○教育委員

学校図書の教科書には、三好達治氏の「土」が取り上げられてい

(吉田 礼子)

て、非常に魅力的だと思います。現場の先生達が地域教材として三田市の三好達治氏の選詩集をぜひ使用して欲しいと思います。ただ、現場の先生方が、使用しやすい東京書籍の教科書を選定するのがふさわしいと思います。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

三好達治氏の詩集は教材として意識して調査研究していただきました。ただし、総合的な判断で見れば、このような結果になりましたが、詩集もあることですし、地域教材の活用ということで、十分配慮しながら進めていきたいと思っています。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他に何かございませんでしょうか。

先ほどの説明や、ご質問等のご回答の説明を聞いていますと、この2社から選定するとすれば、有馬富士公園を題材としていたり、調査研究により、指導者による、指導のばらつきが出にくい第一推薦の東京書籍を採択したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、国語は、第一推薦の東京書籍を答申どおり採択させていただきます。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【書写】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【書写】」の内容説明。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。書写については、候補の教科書が5社あり、まず、推薦された2社の光村図書と東京書籍の答申を協議することで、よろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

第一推薦の光村図書と第二推薦の東京書籍について、何か、ご意

(鹿嶽 昌功)

見、ご質問等ございますか。

○教育委員

(三木 尚美)

ご説明いただきましたが、再度、子どもにとって一番使いやすいことが、ポイントだと思うのですが、使いやすさ、わかりやすさを2社で比較するとどうでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

1年生のひらがなで比べて見ますと、光村図書は、キャラクターを使っていて、ポイントを提示しています。東京書籍も同じくキャラクターを使って、簡潔にポイントを表すことに加えて、言葉による書き方のポイントが添えられていますので、どちらも使いやすい教科書となっていると思います。また、6年生の毛筆指導では、光村図書は、指導のポイントを焦点化し、教科書に載せる情報をしぼり込むことで、シンプルな紙面の構成になっています。たくさんの情報があることで、ポイントが曖昧になる子どもたちもいますので、シンプルな構成は、誰にとっても分かりやすいと思います。

東京書籍は、巻頭にとめ、はね、払いなどの毛筆の基本が示されています。穂先の通るところが示してあったり、文字のバランスが示してあったりします。文字を美しく、整えて書くコツが多く載っていますが、情報量が少し多いことを懸念しています。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他に、何かご質問等ございますか。

○教育委員

(吉田 礼子)

先ほど国語科では、東京書籍を採択いたしました。光村図書の書写を見てみますと、入門期の部分で国語の教科書とやや関連が薄いと感じられます。東京書籍は、国語の教科書と関連して書写が位置付けられているので、子ども達にとって、無理なく学習を積み上げることができるのではないのでしょうか。また、東京書籍の入門期は丁寧に取り上げていると思います。全体を見てみても、1年生だけでなく、どの学年でも学びやすくなっていると思います。国語と関連付けて学ぶことを考えると、東京書籍の方が、適しているのではないのでしょうか。調査研究で、大きな差が無ければ、東京書籍の書写を採択するのがいいのではないのでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副

国語の調査部と書写の調査部とは、別々の班で調査しておりますので、国語との系統性よりも、書写としての使いやすさや、わかりや

委員長  
(福井 加寿子)

すさという点で調査研究しています。系統性という点では、ご指摘のとおりだと思います。

○教育委員  
(田口 文夫)

中学校では、教科書の国語は、三省堂を使用しており、書写は三省堂を使用しています。小学校と中学校では、発達段階が異なりますが、吉田委員がおっしゃったように、出版社がそろう方が、系統性があり、良いのではないのでしょうか。また、情報量が多いと難しい点もあると思いますので、シンプルでわかりやすいのが、光村図書の良さだと思いますが、書写については、毛筆特有の筆の運びがあり、東京書籍は、美しく書くためのポイントを明確に示しています。例えば、「一度止めてからだんだん力を入れる」「穂先を裏返したり」と手本をみただけでは、わからないことを具体的に記載されており、子ども達にとって、美しく書くための必要な情報が明確に示されている東京書籍が良いのではないのでしょうか。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他になにかございますか。  
2社とも第一推薦、第二推薦ですので、甲乙つけがたい部分があります。調査委員会の調査結果をふまえた教育委員の皆様のご意見や、国語科との系統性、学びの連続性、わかりやすさ、丁寧さを総合的に判断して、選定委員会では、第一推薦は光村図書でしたが、書写は第二推薦の東京書籍を採択したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、書写は第二推薦の東京書籍を採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【社会】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【社会】」の内容説明。

○教育長

社会の教科書の候補は、3社ございますが、選定委員会の答申があ

(鹿嶽 昌功)	りました日本文教出版と教育出版の2社で協議することでよろしいでしょうか。
○教育委員	(異議なし)
○教育長 (鹿嶽 昌功)	それでは、日本文教出版と、教育出版について何かご質問、意見等ございますか。
○教育委員 (中上 之仁)	新学習指導要領への対応として、2社の特徴的なものは何でしょうか。
○三田市立学校教科 用図書選定委員会副 委員長 (福井 加寿子)	新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現ということが、今回の教科書の特徴だと思います。そのためには、子どもたちが「問い」を持ち、対話を通して課題解決することが大切です。その点、日本文教出版は、資料を効果的に活用したり、見方・考え方を分かりやすく示すなど、深い学びにつなぐ工夫があります。先ほど、ご説明いたしましたが、5年生の、さとうきびと菊のページでは、疑問があつて、問題の解決、学習の流れに持っていく工夫は素晴らしいと思います。教育出版は、資料の掲載の仕方に少し課題があり、子どもたちの主体的な学習を仕組みにくい点があります。
○教育長 (鹿嶽 昌功)	ありがとうございます。どの教科についても言えることですが、指導者が教えやすいことが、大切だと思います。その点から、指導のしやすさという点で2社を比較するといかがでしょうか。
○三田市立学校教科 用図書選定委員会副 委員長 (福井 加寿子)	一時限で2ページを教えることが、指導者の目安になってわかりやすいと思います。先ほども説明したように、教育出版は、資料が豊富ですが、やや多く、学習内容に必要な資料が焦点化されていない面があるので、慣れない教師にとって、焦点化した授業を進めにくいと思います。それに対し、日本文教出版は、学習内容と資料の関連が吟味されていて、焦点化しやすいと感じます。また、教育出版は、イラストの人物のつぶやきで「見方・考え方」を示そうとしているところが多くありますが、少しわかりにくさを感じます。日本文教出版は、見開きの適所に「見方・考え方」のコーナーがあり、イラストで示し、子どもたちに分かりやすい作りになっていま

す。例えば、5年生の118ページの「見方・考え方」というコーナーがあります。「外国の牛が病気になったら」、「小麦が輸入出来なくなったら」ということで子ども達の思考を広げていく工夫がされています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。他に何かございますか。ご意見等なければ、決定していきたいと思います。

選定委員会から3社の候補から2社の推薦を受けました。ご説明のなかで、日本文教出版の方が、指導しやすい、資料の効果的な活用、深い学びへつながる工夫がされているということでした。社会につきましては、第一推薦の日本文教出版を採択したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、社会は、第一推薦の日本文教出版を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【地図】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【地図】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

候補図書は、2社ですので、第一推薦の帝国書院、第二推薦の東京書籍となります。この2社で協議を進めたいと思います。

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員  
(吉田 礼子)

社会科学習や、地域性の扱いについてはいかがですか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

やはり、子どもたちは、住んでいる三田市について、地図を見る機会が、多くなると思います。帝国書院の45ページから47ページの近畿地方や、三田の地図を見てみると、青野ダムはもちろんです

(福井 加寿子)

が、古城浄水場、三田浄水場が蛇口の浄水場マークで載っています。水の学習についても効果的に活用できると思います。この辺りを見るだけでも帝国書院の地図は詳細に載っていることがわかります。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。

国語と書写については、系統性を考慮し、同じ出版社を採択しましたが、社会と地図に関しては、系統性がありません。第一推薦の帝国書院と第二推薦の東京書籍のどちらかに決めていきたいと思えます。説明にもありましたが、三田浄水場は三田市の水の約8割を占めているので載っていてもおかしくありませんが、約1割から2割の古城浄水場が記載されている地図は、なかなかないように思えます。地図ですので、見やすさが大切だと思います。私も地図を見て、色合いや、文字が見やすいのは、帝国書院の地図だと思います。

他に、ご意見等ないようですので、第一推薦の帝国書院の地図を採択したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

(鹿嶽 昌功)

それでは、地図は、第一推薦の帝国書院を答申どおり採択させていただきます。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【算数】」の説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【算数】」の内容説明。

○教育長

(鹿嶽 昌功)

算数は、6社の候補があり、選定委員会から第一推薦の啓林館と第二推薦の東京書籍の答申がありました。この2社で協議することによってよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

この2社につきまして何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員  
(三木 尚美)

ユニバーサルデザインの視点から、どうなっていますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

両社ともユニバーサルデザインに配慮した教科書になっています。まず、啓林館は、弱視や、読み書き困難な子どもたちに配慮したユニバーサルフォントを採用するなど、どの子にも、読みやすいユニバーサルデザインとしての配慮があります。一方、東京書籍もカラーバリアフリーを含むユニバーサルデザイン、色覚特性の子ども達に配慮した色彩を使用されています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

学力テストの観点から、三田市は、全国平均より、高い方に位置していると思いますが、中身によっては、弱い箇所もあります。両社を比較すると学力的なもので、特徴的なものは、为什么呢か。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

平成30年度全国学力学習状況調査から、三田市では、「示された数量を関連付け、根拠を明確に記述すること」に対して課題が見られました。啓林館は、子どもたちの思考を整理し思考を深めるために線分図や関係図が効果的に使われています。東京書籍は、図や線分図などの抽象的な図だけが示されていることもあり、子どもたちにとって分かりづらい面があります。関係図を使った学習は、啓林館の特徴的な工夫の一つで、判断の根拠を示しながら説明する力、学力テストで課題がある項目を身に付ける上で効果的な教科書だと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。他に、何かございますか。ないようでしたら、決定していきたいと思います。

説明のとおり、第一推薦の啓林館は、関係図などの教材に独自性がありますし、また、エス・コヤマさんを題材にしている、子どもたちにとって、非常に馴染みやすいと思います。第一推薦の教科書についてご意見等もないようですので算数は、啓林館を採択したいと考えますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、算数は、第一推薦の啓林館を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【理科】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【理科】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

理科については、5社の候補から、答申がありましたように、第一推薦の啓林館と第二推薦の教育出版の2社で協議することによろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員  
(中上 之仁)

2社を比較して、実験等、扱っている内容に違いはありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

実験の内容に大きな違いはありません。ただ、実験の方法で、細かいところで、先ほども説明したように6年生「唾液によるでんぷんの変化」の実験では、唾液を綿棒で吸収させて採取するという啓林館の方法は、子どもたちに心理的な抵抗感が少なく非常によい方法が工夫されています。他社にはない方法で、啓林館の特徴の一つと考えています。

○教育委員  
(田口 文夫)

丹波竜が身近とおっしゃっていましたが、どういうところで関わりがありますか。また、生活的なもので、身近な実験について何かありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副

丹波竜は、5年生の自然学校でかかわる学校が多いと思います。ち一たんの館を見学したり、化石発掘体験をしたりしており、そのよ

委員長  
(福井 加寿子)

うなプログラムをしている学校が多いです。

啓林館では、身近な生活に結びついた実験としては、6年生「ものの燃え方と空気の動き」の学習では、問題をつかむ段階で「かまど」にみたてた「空き缶と割り箸をつかった」実験が取り上げてあるなど、生活体験から疑問をもって学習につないでいく構成に工夫があります。子どもたちの生活経験を生かすという点で、教育出版も写真を活用するなどの工夫はありますが、子どもたちの「疑問」を引き出す工夫が若干弱いと感じます。

○教育委員  
(田口 文夫)

ありがとうございました。先ほどの丹波竜も良いですが、三田市の人と自然の博物館を取り入れられた教科書が、あるといいですね。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

QRコードについてご説明されていましたが、教育出版は、子どもたちが検索するのに、ストレスを感じるということでしたが、詳しく説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

教育出版のほうは、単元ごとにあるのではなく、6ページにある最初の教科書全体のマークの説明がある所にQRコード表示されています。ここから、色々な情報に入っていきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

啓林館の教科書は、単元ごとにQRコードがあり、検索すると、動画で説明を見ることが出来るのですか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

全てを確認しているわけではありませんが、動画や、実験道具の使い方、例えば、17ページの気体検知管の使い方、石灰水の使い方、それぞれにQRコードがついていて、詳しく動画などで説明されていくと思います。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会委  
員長  
(伊藤 博之)

教育出版では、最初に表示されていて、項目ごとに、順々に探していく作業が必要となります。啓林館は、個々にQRコードがついていて、すぐに説明を見ることが出来ます。どちらが良いかは、判断しにくいですが、子どもたちにとっては、探していく作業がストレスに感じるかもしれません。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

理科は、比較的ビジュアル的に、電子黒板を使用したり、使いやすい科目ですので、QRコードなど配慮が必要だと思います。  
他に何かございますか。それでは、決定していきたいと思います。  
第一推薦の啓林館と、第二推薦の教育出版から、選ぶわけですが、先ほどの議論・説明や、QRコード、実験の独自の工夫や、学習の過程のわかりやすさの部分から、第一推薦の啓林館を採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、理科は、第一推薦の啓林館を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【生活】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【生活】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

生活については、7社の候補から、答申がありましたように、第一推薦の啓林館と第二推薦の教育出版の2社で協議することによろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、2社について何かご質問、ご意見等ございますか。  
生活は、小学校入門期の学習内容、スタートカリキュラムについて2社で比較するといかがですか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

啓林館の「上」には、スタートブックという、スタートカリキュラムが設定されています。最初に、「学校大好きあいうえお」とあり、幼稚園や保育園を卒園した子ども達が、小学校生活をスタートする所から始まります。保護者向けのメッセージが掲載されています。入学までの生活経験を丁寧に扱いながら、子どもたちや保護者

へ小学校生活の安心が伝わる内容となっていて、非常に丁寧なつくりとなっています。教育出版も入学当初の学校生活を大切にされていますが、啓林館に比べると分量が少ないと感じます。

○教育委員  
(吉田 礼子)

三田の幼稚園を見ていると、非常に主体的で、友達と相談しながら活動するというのを大事にしながら、子どもたちを育てていると感じます。「生活」は幼稚園から、小学校にあがるときのギャップを無くすというものでもありますが、主体的・対話的で深い学びとの関連についてはいかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

入学時のギャップを無くすということにつきましては、先ほどご説明させていただきましたが、啓林館のスタートカリキュラムが充実していると思います。

両社巻末に学び方のまとめがありますが、より対話的な学びの力を意識しているのは、啓林館です。啓林館は、「友達と一緒に考えを深める、友達に伝え合う」ことが丁寧に扱われています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございませうか。

選定委員会では、第一推薦は、啓林館ということです。議論があったように、より対話的な学習ということでは、啓林館が優れているということです。第一推薦のとおり、生活は、啓林館を採択することよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、生活は、第一推薦の啓林館を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【音楽】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【音楽】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

音楽の候補は教育芸術社と教育出版の2社ですので、この2社で協議をすることになります。何かご質問、意見等ございますか。

○教育委員  
(中上 之仁)

2社で比較すると、新学習指導要領の対応についてはいかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

両社とも主体的・対話的で深い学びのある授業に向けた工夫が様々なされています。教育芸術社は、子どもたちの「対話」を促すことを意識した構成になっています。キャラクターの吹き出しによる見方・考え方の意識付けや、感じたことを書きこむ欄が充実しているなど工夫がなされています。教育出版もキャラクターによる吹き出しはありますが、掲載されている箇所が少なく、感じたことを書く欄もメモ欄が多い構成となっています。子どもたちの思考を促し対話的な学びを充実させている点で、教育芸術社を第一と推薦させていただきました。

○教育委員  
(田口 文夫)

紙面構成でいうと子どもたちがより興味を持つのは、2社を比較していかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

両社とも美しい写真など、子どもたちの感性を引き出す紙面構成となっています。特に情景写真は2社とも素晴らしく、多く掲載されています。先ほど、おぼろ月夜で比較しましたとおり、情景写真と楽譜を合わせ、音楽的な感性を歌いながら引き出そうとする点において、教育芸術社の紙面構成の方が優れています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。  
ご説明があったとおり、情景写真は、教育芸術社がきれいだと思います。音楽は、感性にうったえるところが非常に多いですね。

○教育委員  
(田口 文夫)

教育芸術社のQRコードがありますよね。16・17ページの札幌交響楽団についての、このQRコードを調べると、楽器の配置などがわかるのでしょうか。それとも、演奏が流れるのでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

札幌交響楽団のホームページにつながります。オーケストラの説明  
ではありません。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

現在、学校では全ての小学生が一人一人、タブレットなどで、調べ  
ることが出来る環境ではございませんので、家に帰ってから、スマ  
ートフォンなどで、学習することになると思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。  
それでは、決定していきたいと思いますが、ご説明を聞いている限  
り、キャラクターの吹き出しであったり、子ども達に意識しやすい  
絵になっていたりですとか、情景写真を見ていますと、第一推薦の  
教育芸術社が優れていると思うのですが、いかがでしょうか。教育  
芸術社を採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、音楽は、第一推薦の教育芸術社を答申どおり採択させて  
いただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【図工】」の内容説明  
をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【図工】」の内容説  
明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

図工の候補も2社となりますので、日本文教出版と開隆堂とで協議  
をすることになります。何かご質問、意見等ございますか。

○教育委員  
(三木 尚美)

作品を作っていくのに、意欲というのが大事だと思うのですが、子  
どもたちの意欲を引き出すための教材や作品については、2社を比  
較するといかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

両社とも子どもたちが、やってみたいと思う様な魅力的な作品を取り上げています。鑑賞教材を取り上げると、開隆堂は各学年1つの教材が位置付けられており、作品から感じたことを話し合ったり、色や形で表すなどの工夫があります。

日本文教出版は、学年に複数の鑑賞教材を取り上げ、全身を使った体験的な鑑賞や鑑賞と制作活動をつなげるなど多様な指導方法で子どもたちの興味関心を高め意欲を引き出す工夫があります。指導のバリエーションが多く、児童の感性を引き出す点において、日本文教出版が優れています。

○教育委員  
(吉田 礼子)

例えば、浮世絵などは、ヨーロッパで影響を与えたぐらいの底力があつたわけですが、子どもたちが、日本の伝統文化を学ぶにあつて、2社を比較すると大きな差はありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

開隆堂は、諸外国の美術作品や幅広いジャンルの作品を紹介していると思います。日本文教出版社は、日本の伝統文化に関わる伝統工芸などが、特に高学年で紹介されています。どちらも興味深い作品が紹介されていますが、日本の伝統文化に焦点を当てている作品が充実しているのは、日本文教出版です。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。2社のうち1社を採択しなければならないわけですが、説明にもありましたが、対話をとおして、子どもたちが、学びやすい部分であつたり、日本の伝統文化を多く取り入れている第一推薦の、日本文教出版を採択することでよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、図工は、第一推薦の日本文教出版を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【家庭】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【家庭】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

家庭の候補は、2社の東京書籍と開隆堂で協議をすることになります。何かご質問、意見等ございますか。

○教育委員  
(中上 之仁)

紙面構成について、子どもたちにとって使いやすい教科書は、2社を比較するといかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

家庭科は、実技教材ということで、手順など、両社とも写真を効果的に掲載されており、児童が学習の内容をつかみ、主体的に学習できるよう紙面構成がなされた教科書だと思います。東京書籍は、44ページから45ページのお味噌汁を調理するところで、調理の手順が、写真と説明により大変わかりやすく示されていると思います。また、開隆堂については、22ページの、玉止め、玉結び、針と糸をつかった裁縫の仕方等において、学習過程が大きな写真と説明で非常にわかりやすく示されています。単元によりますが、使いやすさについては2社とも工夫された優れた教科書だと思います。

○教育委員  
(吉田 礼子)

現在、三田市では複式学級をしている学校は3校あります。それをふまえて、複式学級でカリキュラムを組みやすいのは、2社のうちどちらでしょうか。両社の違いはありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

わかりやすさという点では、開隆堂は、題材が非常に細かく設定されていて、単元の系統性がわかりにくい面があります。それに対し、東京書籍は、5年生から6年生、小学校から中学校へのつながりがわかりやすく、子どもたちにとっても見通しをもって学習しやすい教科書です。指導者にとっても、指導しやすいと思います。また、先ほどの説明でも申しましたが、東京書籍は、5年生と6年生で関連する内容を同時期に配置されているものが多く、複式学級が増えてきている三田市において、カリキュラムを構成するうえで年間計画が立てやすく便利だと思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に何かございますか。

説明を聞いていますと、単元の系統性がわかりにくいこともありまして、三田市の現状では、複式学級が増えてきていることを考えると、教科書の使いやすさという面では、東京書籍が良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。東京書籍を採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、家庭は、第一推薦の東京書籍を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【保健】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【保健】」の内容説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

保健の候補図書は5社となります。選定委員会からの第一推薦の東京書籍と第二推薦の学研で協議をすることでよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、この2社について、何かご質問、意見等ございますか。

○教育委員  
(三木 尚美)

保健ということで、防災など日常生活に密着した内容となっていると思いますが、子どもたちの学びやすさという点で、2社を比較するといかがでしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

両社とも子どもたちにとって色々な工夫がされていて、学びやすい教科書だと思います。子どもたちの身近な出来事から自分の健康を考える構成がなされていて、心身の健康のための資質・能力を育成できるような構成になっていると思います。

○教育委員  
(吉田 礼子)

その上で、この2社で違いがあるとするとどんな点でしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

先ほども説明させていただいたように、両社とも良い教科書ですが、心の発達、心と体の勉強の所で比較しますと、東京書籍の方が、読み間違いが少なくなるようにユニバーサルデザインフォントを使用していて、文字の大きさや、太さを変えることで非常に読み取りやすい紙面になっています。また、阪神大震災の教訓を踏まえた資料を取り上げている点などにおいても三田の子どもたちにとって、東京書籍の方が、分かりやすく、学習を身近に感じる教科書であると考えられます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

防災の所を比較して見ているのですが、結構同じですよ。ただ、文字を比較して見ると、東京書籍の方が読みやすいと感じますね。ユニバーサルフォントを使用して、見やすい工夫がされている教科書だと思います。

他に何かございますか。両社とも、甲乙つけがたい教科書だと思いますが、調査委員会、選定委員会が推薦されているように、第一推薦の東京書籍の方が、読みやすいと思いますがいかがでしょうか。東京書籍を採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、保健は、第一推薦の東京書籍を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【外国語】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【外国語】」の内容説明。

○教育長

外国語の候補図書は7社となります。選定委員会からの第一推薦の

- (鹿嶽 昌功) 東京書籍と第二推薦の啓林館で協議をすることでよろしいでしょうか。
- 教育委員 (異議なし)
- 教育長 (鹿嶽 昌功) それでは、この2社について、何かご質問、意見等ございますか。
- 教育委員 (三木 尚美) 今回5・6年生で外国語科が新設されますが、これまでの外国語の学習と新しい教科書との関連はどうでしょうか。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (福井 加寿子) これまでは文部科学省が準備したテキストを使用してきましたので、両社ともそのテキストを強く意識してつくられていますので、学習からの移行において、児童がとまどうことなく活用できる内容になっています。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) 教科書を見てみると、書くところの4本の罫線が同じ間隔ではありませんね。上下が狭く、真ん中が広がっています。この間隔の違いは、何か配慮されているのでしょうか。幅が違う方が、見やすく、書きやすいのでしょうか。
- 三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長 (福井 加寿子) 幅の違いは、調査研究では出てきませんでした。東京書籍は特に幅の違いがあります。他社も少し幅の違いがあります。aやeなどを書くときに、真ん中の幅が広い方が、書きやすいと思います。アルファベットを書くことに慣れていない子どもたちにとって、書きやすい工夫がされていると思います。
- 教育委員 (田口 文夫) 文部科学省の副読本や、J I S規格など、罫線の設定基準などがあるのででしょうか。
- 教育長 (鹿嶽 昌功) そのような基準があるかは、わかりませんが、幅が違うことで、アルファベットが書きやすくなるように、工夫がされているのでしょうか。他社も見えますと、程度の差はありますが、罫線の幅は、真ん中が、ある程度広がっています。他に何かございますか。

○教育委員  
(中上 之仁)

東京書籍で重視されているスモールトークとは何でしょうか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

外国語科では、「目的・場面・状況」などに応じて、子どもたちが短い英語の文を使ってコミュニケーションする力の育成が求められています。そのためには、コミュニケーションの中で自分の言いたいことや考えたことを、英語を使って人に伝えることが大切になります。そのための言語活動の一つがスモールトークです。東京書籍の教科書は、スモールトークのトピックが提示してあり、たとえば、「あなたの誕生日は、いつですか。」など短い英文で、子どもたち同士がやり取りをして、コミュニケーションを深める活動が設定されています。これからの外国語科の充実求められる言語活動が大切にされています。この点から、今後の外国語教育の充実を考えたとき、東京書籍の教科書が適していると考えています。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に、何かございますか。

2社から決めていかなければならないわけですが、スモールトークであったり、コミュニケーション能力の育成ということで、東京書籍のほうが良いのではないかと思います。東京書籍を採択するということがよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、英語は、第一推薦の東京書籍を答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【道徳】」の内容説明をお願いします。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

「令和2年度使用三田市立小学校教科用図書【道徳】」の内容説明。

○教育長

道徳の候補図書は、8社ございます。道徳については、一昨年度採

(鹿嶽 昌功)

択いただきました、廣濟堂あかつきを去年、今年の一学期と小学校で使用しております。選定委員会からの第一推薦の廣濟堂あかつきを来年度も引き続き使用するのか、第二推薦の日本文教出版を採択するかで協議をしたいと思いますがよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長

それでは、この2社について、何かご質問、意見等ございますか。

(鹿嶽 昌功)

○教育委員

廣濟堂あかつきについて、自我関与、自分が関わって、自分の事として考えることがすぐれているということで、長所について多くご説明いただきましたが、課題はありますでしょうか。

(田口 文夫)

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

「いじめの問題」については、特に重点を置いていかなければならないと考えます。いじめ問題に関する教材の位置づけについて、日本文教出版は、複数の教材で構成するユニット教材でいじめ問題の学習に対応しています。これに対し、廣濟堂あかつきは、「いじめの問題」に関する教材を「いのちの教材」の一つとして扱っています。他教科と関連付けた指導の充実など、工夫の余地が残されていると感じます。しかし「いじめの問題」に関しては、道徳科だけで考えるのではなく、教科横断的に学習内容、指導内容を工夫するなど、学校教育全体で考えることが最も大切であると思いますので、今のところ心配される点については、補っていけると考えています。

(福井 加寿子)

○教育長

推薦いただいた2社とも、道徳ノートがついていますが、実際、三田の小学校では、去年から廣濟堂あかつきの教科書を使っていますが、それについて、何かご感想はありますか。また、課題や、使用状況はいかがでしょうか。

(鹿嶽 昌功)

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長

先ほども説明いたしました、「道徳ノート」があることで、子どもたちの学習状況を把握し、蓄積し、長期的な視点で子どもたちの学びを見取り、評価にも活かすことが出来るということで、指導上欠かせないものとして道徳ノートを有効活用しています。また、廣濟堂あかつきについては、道徳ノートに子どもたちが考えたことを自由に書ける設定に改訂され、説明のコーナーと考えたことを書く

(福井 加寿子)

欄が分けられていたりするなど、子どもたちが自分を見つめることができる「道徳ノート」であると感じています。日本文教出版のノートは、示された発問に対して子どもたちが考えたことを書く設定になっています。それに対して、廣濟堂あかつきの道徳ノートは、自由度が高いです。子どもたちが考えたことを自由に書けることに併せ、指導の自由度も保障されていて優れていると思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

廣濟堂あかつきの教科書は、1年と1学期使用してきて、来年度から、違う教科書を使うのかというのがあります。この一年間あまり使用してきて、感想などありますか。

○三田市立学校教科  
用図書選定委員会副  
委員長  
(福井 加寿子)

廣濟堂あかつきは、特に、問題など出てきてはいません。教材は、大変良いものが使われていて、現場の学校からの評判は良いと聞いています。今回、道徳ノートの改訂で、自由度があがったことでさらに、有効に活用されると思います。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

他に、ご意見等ございますか。なければ、決定していきたいと思います。一昨年から使用しています、廣濟堂あかつきは、学校での評判も良いそうですし、道徳ノートの改訂でより自由に考えを書くことができる工夫があるとの説明がありました。廣濟堂あかつきを採択するというところでよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、道徳は、第一推薦の廣濟堂あかつきを答申どおり採択させていただきます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

以上で全ての教科を採択させていただきました。最後にもう一度、確認させていただいてよろしいでしょうか。

国語は、東京書籍、書写は、国語との系統性をということで、第二推薦の東京書籍を採択いたしました。社会科は日本文教出版、地図は帝国書院、算数は啓林館、理科も啓林館、生活科も啓林館、音楽は教育芸術社、図工は日本文教出版、家庭科は東京書籍、保健も東京書籍、外国語も東京書籍、道徳は廣濟堂あかつきを採択させていただきました。今日は、午前中から長きにわたって、ありがとうございました。これにて、議案第28号は終了ということになります。

す。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

引き続きまして、本日の追加議案に移ります。  
冒頭で決定しましたとおり、人事案件となり非公開となっておりますので、事務局関係者以外はご退席をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

(1) 人事の一般方針を定め、並びに分限及び懲戒を行うこと

【三田市教育委員会事務委任規則第1条7号関係】

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

議案第29号「職員の懲戒処分について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長  
(浅野 晋司)

議案第29号「職員の懲戒処分について」事務局から説明。

《非公開審議》

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

それでは、このように決定することといたします。

《事務局関係者以外入室》

## 日程第7 報告事項

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。  
報告第17号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長  
(浅野 晋司)

報告第17号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員  
(田口 文夫)

8月25日の『三田幸せプロジェクト』ですが、保健センターでは、高齢社会と障害者の人権についての研修、市役所では、子どもの人権と性と生についての研修、商工会館では、部落問題と多文化

共生の研修、と三か所で行われます。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

その他何かございますか。  
ないようでしたら、これにて報告とさせていただきます。

#### 日程第8 その他の報告

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

では、次回、8月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長  
(浅野 晋司)

8月教育委員会定例会の開催日時は令和元年8月28日(水)午後2時から、南分館601会議室で予定しております。  
よろしくお願いいたします。

○教育長  
(鹿嶽 昌功)

その他何かございませんか。  
それでは、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会いたします。